

インスリン

Q5 インスリン注射を行っています。時々、嘔吐と下痢（糖尿病によるものといわれています）で、2～3日の間、食事がほとんど取れなくなります。このような時、インスリンの注射はどうしたら良いのですか？

A5 糖尿病は1型（インスリン依存型）でしょうか、2型（インスリン非依存型）でしょうか？ 1型の方は、内因性インスリン（自分自身のすい臓で作られるインスリン）が枯渇していますので、食べない時でもいつものインスリンの半分量は注射したほうが良いでしょう。1型の方がインスリンを中止してしまうと、ケトアシドーシスという重篤な合併症を起こすからです。

一方で、2型の方の場合は、内因性インスリンがありますので、食べない時にはインスリン注射は不要であることが多いようです。しかし、体の調子の悪い時（発熱・嘔吐・下痢など）には、食べなくても血糖値が上昇することが多いものです。まずは血糖値を測定して（自己血糖測定）、インスリンを調節する

のが良いでしょう。そのためには、普段から主治医の先生とインスリンの調節の仕方を相談しておいてください。嘔吐・下痢が1日以上続くようなら、受診されることを勧めます。場合によっては入院治療が必要となります。

糖尿病が長い方の場合、嘔吐と下痢が頑固な便秘の後に起こることもありますので、日ごろの便通のコントロールも大切です。また、嘔吐・下痢が糖尿病性胃腸障害によるものか、ほかに胃腸疾患が隠れていないかどうかを、詳しく調べることも重要です。

食事を規則正しく取ってインスリン治療を行うのが基本ですので、食事が乱れる時には注意深い調節が必要です。

（原田篤実／松山赤十字病院 腎センター・医師）